

業務規定ニテ片、鉄片ト雖モ蒐集シ還送スル如ク努
一兵ニ至ル迄之カ資派愛護ノ精神ヲ向上シ國家總力戰遂
行ニ順應スル如ク努メラレシ事ヲ望ム

兵器班長口演要旨

地球人類ノ生存スル限リ戰爭ハ絶ヘスト喝破シタル人ノ言ハ真ナリ
今ヤ西獨ノ對英作戰アリ東ニ日支事變尚硝煙消スルノ日マ遠
ト豫想セラルトキ米ノ動キ又豫断ヲ許サルハ米管有ノ重大危
ニ直面シアル今日當兵團管内ノ殘敵尚蠢動止マズ討伐ニ嚴備
業務多端ノ析柄兵器關係各位、會同ヲ得テ親シク前線部隊
ノ實狀並ニ業務ニ關スル意見ヲ聽取シ併テ管掌業務ニ就テ所
懷ヲ披瀝シ得ル機會ヲ得タルハ小官ノ最モ光榮且感激ニ堪
レ所ナリ
以下業務推進ノ參考事項ニ關シ所見ヲ述ヘントス
一兵器ト死生榮辱ヲ担ニスル精神ノ昂揚精神教育ト相俟ツテ兵
ト雖モ生存スル限リ兵器亡失ノ絶無ヲ期スル如ク指導シ最悪ノ

場合ニ於テモ兵器ニ就テ利用セラレサル如ク處置スルコトニ關シ教
育スルト共ニ既往ノ實績ニ鑑ミ信賞必罰ヲ勵行スル如ク之カ指
導ノ徹底ヲ期セラレ度

ニ七 失毀損兵器ノ處置ニ就テ

第一類兵器ノ毀損七失ニ際シ其報告及代品請求ノ手續著シ
遅延シ再三再四督促ヲ受クルモ討伐中隊長不在トノ理由ニテ亡
失後ニ月モ提出セサルカ如キハ適當ナラス毀損七失ヲ根本的ニ絶無
トシスル如ク努力スルハ勿論之等ノ事故發生シタル場合ハ其調査及
處置ヲ可及的速ニシ規定ノ手續ヲ採ルヲ要ス目下軍ニ於テモモ
第一類兵器ノ豫備少ナリ補填ニ時日ヲ要スル現況ニ於テ特ニ然
リトス

ニ八 自動車ノ保存整備ト燃料節約自動車ノ保護ニ就テハ從
凡百機會ニ強調セラレアル事項ニシテ各部隊ニ於テモ銳意努力セ

ラレアルモノト信スルモ其實績ヲ見ルニ尚充分トハ言ヒ難シ特ニ幹
部ノ自動車ニ對スル認識充分ナラス連日車ノ動ク間ハ之ヲ使
整備日ヲ設ケス其ノ衰損ヲ著シク早メアルモノアリ又乗車下車
等ノ要領ヲ全ク指導セサルタメ其ノ輪帶車体ニ損傷ヲ來シアルモ
自動車道ノ極度ニ悪キニ不係ス速度ヲ要求スルモノ等其ノ
例勘カラス自動車ノ補給ハ當分困難ニシテ各部隊ハ現在保有ノモ
ノヲ保績セサルヘカラサル實情ニアルヲ以テ速ク之等ノ教育ヲ徹底シ
且悪習ヲ一掃シ之カ保存整備ニ遺憾ナキヲ期セラレ度各自動車
用燃料ノ節約ニ就テモ其補給充分ナラサル狀況ニアルヲ以テ極力其
節約ヲ期セラレ度

ニ九 部外団体ノ兵器ニ就テ

管内ニ於ケル支那側警備隊工場等ニ配當シタル兵器ハ相當數ニ
テ之等ノ整備保存ニ就テハ各部隊ノ監督指導ニ俟ツモノ多シ
機會アル毎ニ検査ヲ實施シ其ノ成績通報セシレ度尚兵團ニ於テ
モ近ク之カ検査ヲ實施スル豫定ニ付便宜トヘラレ度

本年度第一回ノ兵器委員ノ會同ニ際シ親シク諸官ノ
壯容ニ接スルハ本職ノ欣快トスル所ナリ

諸官作夏以來連續間断ナキ作戰ニ當リテハ一意其
職務ニ努力邁進シ今尚兵器ノ復舊整備ニ專心盡
瘁シアリテ洵ニ其ノ勞苦ヲ多トスル所ナリ

強クハ作夏以降ノ作戰ニ於ケル兵器ノ毀損亡失ハ諸
官周知ノ如ク當旅團編成以來未ク曾テ無キ在大
ナル数量ニ上リ著シク整備上ノ欠陥ヲ見ルニ致レ

リ而シテ之等毀損亡失代品ノ補填ハ諸般ノ關係上
意ノ如クナラス相當長日月ヲ要スルノ狀況ニアリテ
眞ニ寒心ニ堪ヘサルモノアリ

諸官ハ此ノ現状ヲ深刻ニ認識シ特ニ今次作戰ニ於
テハ毀損亡失ノ真相ヲ究明シ之ヲ對策ヲ考究シ
於テ爾後ニ於ケル毀損亡失ノ絶無ヲ期スルヲ要ス
又現有保管兵器ニ對シテハ兵器尊重心ノ徹底的養
成取扱使用法ノ熟達ヲ入保存ノ適確修理整備ヲ確

救ノ延長精度ノ保持ヲ計ルヲ西セス

而シテ作戰後ノ復舊整正備ハ着々實施セラレレド

信スルモ之ヲ完備ニハ尚絶大ナル努力ヲ致スニアラサレ

ハ望ミ得ラレズ且又此完遂ハ前述ノコト、共ニ刻下ノ

際ニ至リ得ル事ナリ

如キニシテ職責ハ愈々重大ニシテ職責遂行上幾

分ノ困難ヲ克服排除シ旺盛ナル志氣

ヲ以テ積極的ニ職務ニ邁進之ヲ實行シ其ノ重任ヲ

宛テメンコトヲ期スヘシ

昭和十六年二月七日

旅團長 片山省太郎

兵器業務改善實施ニ關スル細部注意事項

本日茲ニ諸官ヲ会同セシレ通聞章リ兵器業務改善ニ關スル一節、改善ノ要ルルニオリ此ニ機會ニ於テ兵器業務改善ノ處理シタル間ニ各官ノ細部注意事項ヲ説明シ以テ執務上ノ參考ニ資シントス本片ノ注意事項ハ主として小銃隊ヲ對象ニ記述シタルモ各兵團主任者モ亦十分検討シ自己兵器業務改善ノ法用セラレ度

(記述順序ハ不同トス)

一報告通報提出期日ノ遵守

- 1. 提出期日ノ遵守ハ事務的迅速ニ處理スル所以ナリ
 - 2. 定期ノ遵守ニヨリ準備業務ノ進行ニテ處理スベキ事項ヲ研究シ置クコト
 - 3. 提出書類ノ録ヲ整理シテ作製シテ臨時會合セルモナリ場合ニテ利用ス
- 定期ノ遵守ニテハ各官ノ場合ニヨリ難クシテ提出期日ノ遵守ハ各官ノ習慣ニ依リテ

二書(格)ノ遵守ト研究

兵器業務改善ニ關スル細部注意事項

公文書公文書規則ニ関スル

①用紙ノ規程ハソレモ規程用紙ヲ使用スルコト
②(右)標準ニ綴方、向トニスベキ等ヲ考察シテ適宜余白ヲ存スルコト
③特一書(様式)ヲ示サザルモハ最モ合理的ニ作製スルコト

書類調製上心得

①書類ハ公文書日前ニ完成スルハ調製者ト即チ十分夫檢査存シ的確期在モト
②戦場於ニ急綴・加ヘ行ハサルモトス(但特種軍令ニモ除ク)
③内容必ズ兵檢査重復脱落等ヲアルヤ十分注意スルコト
④機(秘)密ニ屬スルモノハ所定ノ様式ヲ行フコト
⑤宛名如ク持テ注意ヲ要ス即チ部隊長宛ニ之ヲ対スルモノアリ
⑥申請(上申)等書類ヲ兵器部長宛提出スル部隊ヲ注意ヲ要ス
⑦部隊統制ノ檢討ヲ要ス即チ經由書類ハ公文書方軍令ニ通陸軍省迄ニ通
ラズ入軍ノモトニテ二通調製作スル部隊アリ不平等ナリ但シ上級部隊等ヲ對

公文書(職)印キモノアリ

四規定ノ研究ニ就テ

①兵器ニ関スル規定ノ研究ヲ行フコト (兵器業務規則ニ當テ軍令及軍令業務規則)
②規定精神ヲ把握スルコト
③特ニ關係ヲ有スル事項ハ深刻ニ研究シ置クコト

五連絡ト指導

①關係業務者ニ對スル左右上下ノ連絡ヲ密ニラシムルコト
②部下ノ指導ト監督ノ必要ナルハ目下ノ現況ニ即チ特ニ重テ爭ナリ之ヲ良クハ
(續ニ影響ス)
③部下ヲ信スルト同時ニ教育指導ヲ怠ラザルコト
④部隊ハ自己ノ上級部隊ヲ經由スルコトナリ短絡モザルコト

六書類ノ整理ト内容ノ理解

①各方面ヨリ受領スル書類ハ單ニ綴入スルノミナ可内容克ク檢討スルコト
②未入ニ屬スル方式ニ屬スルモノモ主テ事項ヲ通達スル場ニ多クシ整理業務處理

上ノ重平書類ハ執務指針ニテ何等ノ方法ヲ講スルコト
(亡失敗頂ニ對スル通報等)ヤキ(コレナリ)

○故當事項發生シタル場合ハ必ズ關係書類ハ條項ニ基キ処理スルコト
(亡失敗頂報代品請求書名簿書類等)

七 敗頂 亡失 報告ニ就テ

1 報告ハ迅速的確ニ行フコト(報告ト申請ト同時ニ行フヤ)

2 理由書ノ内容ハ冗長重ルコトナリ敗頂亡失ノ原因理由ヲ明記スルコト(申請ニ
理書ニ通報報告ニ狀況調査書ニ部添付)

3 參謀長通報ノ内容ヲ検討スルコト

4 理由書末尾ノ部隊名ハ固有名稱トシ氏名ノ下ニ 印ヲ捺スルコト

ハ兵器ノ區分ヲ記述スルコト (銃器砲兵彈藥發射機自動車他シ
一門トシテ何カ部何カ隊ノ除ノ等ト記スルコト)

5 彈藥ハ七六敗頂報告殆シドナシ 報告スルコト

七 亡失兵器近況ニ就テ

2 戦斗上不可救ウニモハ別トスルモ最近部隊裝備ニ於テ甚ク多シ

3 將來補給ノ分注(意)スルコト(以上方軍ノ意見)

八 意見提出書類ニ就テ

1 意見ハ件毎ニ別紙トスルコト

2 部數ハ三部トス(但シ軍ミナラバ二部ニテ可ナリ)

3 業務區分ヨリ分卷コト(數項ヨリ連ニ記述スルヲ注意ヲ要ス)

九 方面軍兵器業務規定第 七十三條ニヨル兵器關係設置事項

ハ必ズ通稱スルコト(少クモ二部提出ノコト)

(側面ハ二援助シ又ハ關係者ニ連絡スルヲ必要ナリ)

2 從來ノ意見ヨリ判断スルニ軍援助ヲ希望シテ其内容ニ於テ不明ナル

場合多シ即チ書送テノ通報ナキニ爲ナリ

三 兵器業務關係者ノ通報

1 方軍兵器業務規定第六十條ニヨル通報不確實ナリ

2. 兵種部下ノ兵器本員同掛ノ名氏名通牒

3. 直隸小部隊ノ実行精確実ナリ勵行スルコト
ノ異動アル場合直ニ通牒ノコト

ニ補 給 廠 等ニ差出入書類ニ就テ

ノ補給廠元ノ特別ノモノヲ除キ必ズ軍ヲ經由スルコト(一部提出シ一部軍控
ニテシテ經由困難ル場合ハ寫ヲ部送付スルコト)

三 函 獲 押 収 兵 器 報 告 及 増 加 申 請 二 就 テ

ノ処置ノ欄ニ於テ記入セヨリ

2. 參謀部ニ対スル情報報告ト函獲報告ノ員數一致ナル場合多シ
兵種ニ於テ關係者トノ連絡密ニシテ要ス

3. 報告ノ迅速ニ品目員數ハ正確ナルヲ要ス

ノ報告ノ函獲品全部ヲ記載スルコト

ノ申請ノ場合ハ方軍規定第廿二條ニヨル

2. 函獲押収兵器ノ業部ノコトヲ全部記載スルコト(第廿二條以下ノ処置ハ必ズ要ス)
ノ説明ス

三 函 獲 兵 器 中ノ第 二 類 以 下ノ 処 理 二 就 テ

ノ方面軍兵器業務規定第廿二條第廿項ニヨル実行不確定

又第一類ニ準ズベキト第廿二條以下ト申請及指示ノ区カラ明セヨリ

3. 第 二 類 以 下ノ 使 用 及 燒 却 毀 却 等 關 スル 報 告 軍 兵 器 部 長 指 示 受 入 ル コ ト

4. 緊 急 処 理 指 示 受 入 報 告 場 合 外 置 上 述 二 軍 兵 器 部 長 二 通 牒 受 入

四 彈 藥 檢 査 報 告 二 就 テ

ノ方軍兵器業務規定第廿九條ニヨル報告提出勵行

ノ彈藥取扱細則ノ報告通報事項ヲ研究スルコト

第 廿 條 檢 査 報 告

第 廿 一 條 通 牒

第 廿 二 條 報 告

五 管 理 保 管 兵 器 檢 査 ノ 予 定 及 実 施 報 告

ノ管理兵器検査報告(成績及意見)ハ三通提呈
ニ保管兵器検査ハ三通提呈

シ実施シタル場合ハ速ニ報告スルコト

ハ一週間前ニ予定計畫ヲ報告スルコト

ハ検査計畫ハ年度毎ニ確立スル等ニ検査計畫ニシテ其目的ニ合ハルモアリ

其兵器名稱ノ記述法

ノ兵器細目名稱表ニ依リ的確ニ名稱ノ記述スルコトモ細目名稱表ヲ有セ
場合ハ之ニ準テモモヨリ又ハ兵器部(班)聯隊(連)ノ記述モ可トス

又記述順序モ兵器細目名稱表ノ順序ニ致セシムルコト

ノ適當ニ付テ名稱ハ総対使用セラルコト

一七 技術部將校以下ノ教育計畫ニ就テ

ノ小部隊ト雖モ技術部關係ノ教育計畫ヲ樹立スルコト

又軍直轄部隊ニ於テハ参考トシテ必ズ寫ヲ送付セシムル度

一八 熱下部隊ニ他兵團派員スル場合ノ携行彈藥ニ就テ

ノ從來ノ例ニ定數彈藥ヲ携行スル配屬兵團又ハ軍直轄給受タル如ク計畫

スル部隊多シ 注意ヲ要ス
又作戦ノ性質作戦地ノ地形等ヲ考慮シ前ニ携行スルべき彈藥信管ヲ準備

スルコト
ノ戦斗間及直後ニ於ル兵器手具材料ヲ携行スルコト

一九 修理及手入材料ニ就テ

ノ修理及手入材料ノ受領節用ニ努ムルコト

ノ内地駐留ト全數ヲ消費ノ關係ヲ認識スルコト (逐次減少ニシテ)

ノ不足部ニ材料ノ補給ニ就キテハ雷上ニテハ好カシマリ

ノ部隊ニ於テモ再用ニ努メ且取込主義ヲ排スルコト

ノ早期修理ノ勵行

ノ應用材料ヨリ修理ハ製式ニ類似スル如ク行フコト

ノ兵器用物中ノ新調及整備ニ就テ

兵器用物品製作ト之カ愛護ニ付テ注意スルコト

2 兵器用物品ヲ軍ニ要求スル部隊ニモ方軍規定第ニ條第ニ項ヨリ
補給廠ニ要求スルキモノナリ但書ノ場合ハ軍經由方西軍提督ノ指示ヨリ

3 直轄部隊ニテハ軍經由補給廠ニ要求スルコト

4 練習用具ト混同セラルヲ要ス

5 練習用具ヲ兵器部ニ要求スル部隊ヨリ本件ハ経理部周係ニ屬ス

6 兵器業務ニ使用スル諸用紙類ヲ兵器部ニ要求セラルモ亦経理部ニ
要求スルモノナリ

三 兵器費ノ運用就テ

1 使用計畫ノ立案不十分ナル部隊アリ

2 実施ノ記入不確實ナル部隊アリ

3 経費ハ毎年減少セルヲ以テ有利ニ使用シ兵器及物品整備重要ヲ保持
スルコト

4 件費多額使用スルハ適當ニス

5 兵員有企拘ラズ亦天ヲ多數使用ル部隊ヲ研究ヲ要ス

6 兵器部取扱比較的粗雑ナリ

7 経費保有シテ不足ラズ告グルモノナリ

8 戦場初テハ分岐文換ヲ行ハルヲ命令數限リ使用スルコト

9 代價ハ返納セヨ部隊ニ取込ハ不可

10 所在不明者携行シ兵器ミテ一月以上経過スルモ七失ノ手續ヲ付ル
部隊ヲ注意ヲ要ス

11 兵器ノ廢屋ハ一階停止マシレルモ (昭三九三。陸軍省六三三三) 部隊於テ調製スルモノハ
成シ得ル依リ整備スルコト

12 各部隊拳銃眼鏡等紛失又ハ兵器ト混同シ易キモノハ名簿
ヲ作リ管理ヲ行フコト (准尉以テ私共方)

13 天部外團休保有兵器ノ整備ニ就テ

1 部外團休ニ對スル兵器ノ管理員ハ当該地區兵團ニ付

2 精ニ支那側体ノ指導ヲ監督ヲ要ス

3 七失兵器ノ報告未タナシ確實ニ實行ヲ要ス

兵器彈藥ハ部下受ケ裝備スベキ原則トス目下特別ノ事状ニヨリ
野戰食ヲシテ

兵器團ニ於テ外部團體ニ対スル兵器検査ヲ行レ度

道縣中連絡員ハ業務ヲ行スル熱心ヲシテ以テ指導ヲ要ス

各兵團外部團體ニ於テ各兵器ノ狀況ヲ把握シヤルコト

外部團體ヨリ修理兵器ノ現況ヲ意見ヲ提出スル如ク督勵セラレ度

外部團體ヲ如ク裝備兵器ヲ整理スルコト

自體從來ノ保有兵器 口貸与兵器(貸与及交付セラレタル部隊別)

ハ部下購入 二押收ト鹵獲兵器

三入退院患者携行兵器ニ就テ

入院患者ニ対スル携帶兵器ヲ規定ノ如ク実行スルコト

取扱ノ要旨左ノ如シ

(1)入院患者ノ携帶兵器ハ必ず病院ニ引渡スコト

(2)同一衛戍地ニ於ケル部隊ニリテモ必ず携行シ病院ニ引渡スルコト

四部隊ニ於テハ勝手ニ設置スベカラス

四部隊ニ於テハ規定ノ無様ニ通牒等ヲ以テ特例ヲ設ケザルコト

六後送及返納兵器取扱處理ニ就テ

返納兵器ハ部隊ニ於テ手入兵檢ノ上返納スルコト

又小銃ノ如キ彈藥裝填ノ有無ヲ兵檢スルコト

彈藥ニ就テハ特ニ注意シ規定ノ如ク取扱フコト

各兵團及直轄各部隊ニ於テハ押收鹵獲兵器ヲ申請認可セラレザ

ルニ保有セス直返納スル事ト

五戦死者ニ對スル兵器ハ速ニ整理ノ上返納スルコト

六判式兵器(携帶兵器トス)ニシテ定員或ハ定数以上ニ保有セザルコト

七返納交換兵器ニシテ返納遲延スルモノ多シ稱後用法上各都合

了勵行スルコト

九兵器原材ノ蒐集ニ就テ

一蒐集規定ヲ研究スルコト

二部隊ハ片ノ鉄片非鉄金屬ト雖モ蒐集スルコト

兵器原材料ノ飲ノミテラズ規定範圍ノモヲ發見シタル場合ハ總テ報告スルヲ要ス

又蒐集業者ニ對スル取締リ及指導

各兵團ニ於テハ關係機關ト常ニ連絡シ資源ノ狀況ヲ明ニシ置

6 部隊ニ於テハ許可ナク兵器原材料ヲ使用セザルコト

7 軍司令部ニ對スル兵團ノ報告上今月其狀況ヲ報告スルコト

三 月報調製表上ノ注意

1 月報調製ハ目的ヲ理解セヨ

2 内容ノ記述ハ兵ノ如ク注意ヲ要ス確實ナル実行ヲ要ス

3 敵機ノ兵器ハ左ノ如ク分類スルコト

4 敵機ノ裝備ノ教育用部外團體裝備ニ區分ス

5 彈藥等ヲ記載スル部隊アリ

6 本部提出ナルニ拘テ一部ヨリ提出マザル部隊アリ

6 經由兵團ハ兵檢ヲ確實ニ履行スルコト

7 直轄方面軍兵器部ニ送付セザルコト

8 現地持務機関ヲ指導セラレ度(兵器事項銃器等記入メモアリ)

9 兵器月報ノ表紙ハ消耗品節約ノ主目ヨリ自今廢止セラレタリ

10 人馬現員表ハ各兵團兵器部(班)更兵器有動車(支隊)ノミトシ他ノ要

三 部隊保有兵器ノ保存取扱

1 各隊兵器裝備ヲ本部等ニ格納シ正モテ入保存不良ナリ

2 部隊保有兵器ニシテ戰鬥上ノ用途クモテノ理由ヲ以テ本部等ニ格納シタルモ

持續ノ理由ナキヤリ適當ナラス

3 部隊ノ人員ニシテ裝備兵器ヲキリシ動ニ際シ之ヲ使用兵力ニシク爲ニ格納ノ狀態ニナルガハ適當ナラス

4 一般ニ兵器保存取扱不十分ナリ徹底シタル教育ヲ要ス

5 増加裝備兵器ノ再檢討ヲ行ヒ徹底シタル整理ヲ要ス

三 其他參考事項

兵器部ハ兵器ノ保管ノ法ハ甚ク重要ナル事ナリ

ノ押込迫撃砲彈整理(運搬中)爆発(ノ芽十軍)
又其ノ隊ニテ縫工場ヨリ被火全焼セリ(対策研究)

シ教育兵器十分言ズ即チ戦斗用ヲ不十分ナル現況ナルコトヲ想倒シ度
ハ銃ト雜モ殊更ニ申出デザルコト

ノ將夜用拳銃ノ拵下ハ困難ナリ近ク各兵固ニ五段程度アルヲ相
三、彈藥ノ請求ニ就テ

ノ單直部隊及臨時配屬部隊ニテ彈藥請求方法ヲ設ルモ多シ

ニ依テ爲時ニテ數ノ彈藥ヲ坐車トシ場合ハ必ズ使用計畫ヲ附スルコト
(支軍兵器業務規程第ニ條參照)

ノ兵團配屬部隊ニテ直府軍ニ請求スルモナリ該兵團ニ請求スルモノトス

⑤請求票ノ記載ニ就テ

ノ十式擲彈筒信號彈ノ如ク同種類モモニテ多數区分シアルモノハ必ズ品目等ニ
「信號彈未呈」同白ニ呈流呈等ノ如ク記載スルコト

ノ制式名稱ヲ記載スルコト例ハ九四式ハ砲補彈トス九四式砲九四式砲補彈トス
ノ如ク明記スルコト

ノ請求部隊名ハ秘匿名ヲ使用ス固有部隊名ヲ記載スルコト

ノ交付票ノ色別ヲ確實ニ実施スルコト

ノ訂正追加削除ノ場合ハ必ズ訂正印ヲ捺スルコト

ノ請求票ハ必ズ提出給部隊數ヲ悉察シ部數ヲ定ムル如ク注意ス

ノ摘要欄ヲ活用シ請求ノ理由ヲ明記スルコト

以上

補給

彈藥補給一般、面々領

第一補給、軍隊、戰鬥力ヲ維持増進スル為必須、要務ニシテカ
 適否ハ作戰ニ重大ナル影響有テ、而シテ軍、編成裝備複雜大シ軍
 需品、品種区分、所要量益々増加シ、補給ヲ益々困難ナシムルモトス
 故ニ高級指揮官ハ絶ニ作戰ノ推移ニ慮ル軍、需要ヲ豫察シ、其ノ緩
 急、明カニ補給路、故定輸送機關、運用車需品整備交付等
 ヲ適切ナラシムル如ク勉メテ計画的ニ統制アル補給ヲ行テ、緊要ナリ
 之ヲ為上級指揮官以下ハ補給、關シ絶ニ本部下軍隊、現況ヲ明カニ
 シ必要、事項ヲ、高級指揮官ニ報告シ補給機關、連絡ヲ密ニシ
 所、要、車需品、充實ニ當リ、其、戰鬥力ヲ完備セシメ緊急下場合
 ニ於テ自ラ、適任シ、機宜、處置ヲ為シ、ト肝要ナリ、特ニ彈藥補給
 給、適否、直接影響、重大ニ關シ、有テ、而シテ、彈藥補給、
 原則、所要、時間、所要量、所望、地、點、於テ、機、ヲ、失、スル、事、ナク
 部隊、充足シテ、其、戰鬥力ヲ維持増進スルニ、テ、然レ共、軌、近

料果進歩變々トシテ止ル所ヲ知ラス兵器裝備ハ愈廣汎複雑多岐五ルニ至レリ即多機多刺米銃砲ヲ有シ其發射速度モ亦増大シ且戰鬥較強トナル最近趨勢ニテハ補給復雜困難ナルハ言語ニ絶スルモノアルヘシ

故作戰ノ推移戰鬥ノ性質企圖等ヲ考慮シ周到ナル計畫ノ許ニ實施シ且機宜ニ適ルル處置ヲ講スルハ勿論百方ヲ設テ盡シテ效果ニ補給ヲ實施スルコト緊要ナリ

第二各部隊ニ對スル彈藥交付ハ師團長ノ命ニ基キ輜重隊ニ於テ彈藥交付所ヲ開設シ交付スルヲ通常トス而シテ彈藥交付ノ當リニハ彈軸修正信管裝着車集兵器處理等復雜ナル業務ヲ伴フコトアルヲ以テ兵器勤務隊ヲシテ所專ニ應ジ輜重隊ノ彈藥交付業務ヲ援助セシムルモノトス

第三彈藥交付所ハ展開狀能地物特ニ道路景況等ヲ考慮シ右シテハ敵ノ所ニ開設スル際排兵隊ニ對シテ設置スルハ有利ニ彈藥交付所ト交付ヲ受クル部隊ノ距離ハ道路無ク況彈藥班及隊列輸送力輸送量等ヲ考慮シ步兵爲ニハ炮臺前方ハ位置ニ爾後戰線ノ推移ニ應ジ逐次移動スルモノト入而シテ之ヲ選定ニ關シ考案ハ必要件ニ從ヒ尤如シ

ノ敵眼敵火ニ遮蔽シ警戒ニ便ニシテ成ルハク戰線ニ近キ事ヲ交通便ハ道斷輜重兵附近ニ在事ヲ開進進入退散ニ便ニシテ成ルハク戰線ニ近キ事ニ位置ハ發見容易ナル事

而シテ混雜ヲ避クルコトヲ肝要ナリ
第四各部隊ニ交付スルハ要領附図如シ
第五彈藥授受ノ要領凡如シ
ハ彈藥ハ通常素箱ニ納メタル儘精給スルモノニテ彈藥ヲ受領シタル

部隊の所守に應じ適宜彈藥車彈藥箱を收容ス

2 彈藥補給に方リテ射車積度ヲ良好ナラシムル爲裝束信管彈藥等同一口ノキヲ同一部隊ニ交付スル者注意ヲ必要トス

3 彈藥補給に任ル部隊ハ其空車馬等ヲ利用シ打殺業其具也

4 以テ彈藥車積度山内ニテ補給ト反對経路ニ依リ補給ニ任ル部隊ハ空車馬ヲ利用シテ行クヲ趣旨トス

第六彈藥交付之際シテ有意スル事柄概テ左ノ如シ

1 彈藥補給之際シテハ彈種信管ヲ誤ラサルコト

例ハ九一式十個彈藥如キ分箱裝束筒式モニシテ同一箱ニ彈種類別ヲ記シテ誤ラサル要ス又彈藥箱ニ對シテ所要信管ヲ誤ラサル要ス

2 信管ハ信管筒式ハ信管標識ニ注意シ野山内補給道ニ對シテ

3 外観全ク同一ナル彈藥筒(例ハ三式野砲用ト九四式砲用ト)如シ或ハ外観類似彈藥筒(例ハ九四式三七粒砲用ト九四式三七粒

戰車砲用ト)如キニ在リテハ特ニ彈藥箱並彈藥筒標識區分ニ注意シ砲種對シ彈種ヲ誤ラサルヲ要ス

4 彈藥區分裝束口及信管口同一ナルモノヲ同一部隊ニ交付スルヲ要ス

5 被補給部隊彈藥詰替作業ハ狀況ヨリ兩者協力シ

6 信管未着モノナル時ハ必ラス裝束上(後動信管如キモノ)交付スルヲ要ス

7 不良彈藥打殺等ハ之ヲ選分シ危富ニ防ニ注意シ夫々處置スルヲ要ス

ノ、諸項ニ關シテハ相當ノ技術ヲ要スヘキヲ以テ兵各勤務隊
ノ、有リテ之ヲ援助セシメ得ル如ク作戰要務令ニ規定シ
第ニ彈藥集積ニ關シテ注意スヘキ事項概テ如シ

集積スヘキ彈藥ハ種類數量輸送機關交通及集積地ノ
狀況特ニ地積並利用スヘキ建物ノ狀況等ニヨリ差異アルニモ
管理及防護等ノ關係之ヲ許セテ敵ノ空襲謀略等ニ依ル
被害ヲ局限スルヲ成ル可ク分散配置スルヲ要ス

細部ニ注意スル如シ
一 交付ニ便ナル如ク集積スル事

同時ニ多數ノ彈藥ヲ交付セラルベカラテ彈藥集積狀態
ハ輜重隊列式ハ彈藥班等ニ對スル交付ニ便ナシ全般ノ
配置ハ一受領部隊ノ横隊ヲ以テ同時授受シ得ル如キ正
面ニ對シテ向テ受領部隊ノ積載量ヲ顧慮シ成ルベク部隊毎ニ

一團トシテ授受ニテ小出ヲ行フヲ繁ク避ケルヲ可トス集積數量
多キ時ハ之ヲ數線ニ配置シ各線ノ間隔ハ概テ五六十米トシ其中

間ニ同時ニ二部隊進入シ授受スルモ支障ヲラシムルヲ要ス
ニ 多數彈藥ヲ集積スル場合ニテハ敵ノ攻取具他ノ難災ニ

テ同一品種ヲ恣ク滅失損傷セシメタル如ク區分集積スルコト
ニ 保管管理ニ便ナルコト

步兵彈藥砲兵彈藥等ニ大別シ其ノ内部ニ於テ砲種彈種
等ノ品種別ニ推積トスヲ要ス

四 同一品種彈藥即彈藥區分裝藥ノ口及信管ノ口同一ナルヲ同一
部隊ニ交付スルニ便ナシ如ク豫メ石諸元ヲ考慮シ區分推積スル

防濕防暑ニ留意スルコト
ノ 直射日光又ハ雨露ヲ避ケル多ク屋下ニ集積スルヲ可トス止ムヲ得ス

野積トスル場合ニテモ特種彈深藥火具分離藥筒類榴霰
彈復働信管等ニ成ル可ク覆フアミシノ類ヲ以テ復働等ノ處置ヲ

各推積周囲ハ排水溝ヲ設ケテ水中ニ彈藥ヲ浸積スルヲ予所
スルヲ要ス所期於テ持本注意ヲ必而女トス

彈藥箱又ハ素箱種類ヨリ底ヲ上方ニシテ推積スレハ比較的兩
露ヲ防得ルコトアリ

八 自然發火ヲ注意シ易キ特種彈ハ他ノ彈藥ト隔離スルコト
推積高ハ一米ハ以下ト入ルコト

九 彈藥ヲ授受ヲ容易且フ確實ナラシムル爲各彈藥、推積ニ簡、
單明瞭ナル標識ヲ設ケ又ハ符號ヲ附シテ彈種信管區分等ヲ誤
ラズル如クスルコト

十 授受部隊ノ行動ヲ容易ナラシムル如ク進入前及退出後、集積位
置進入及退出路、授受位置等、選定ヲ適切ニシ且道標若クハ
標識ヲ設ケテ之ヲ指示スルコト

十一 授受位置ニ彈藥積數以外、車輛出入スルヲ避ル爲行李車等ト
彈藥積載車輛トノ行動要領ヲ明確ニシムル標識及進入先頭車
輛、停止點等、標識ハ特ニ明確ニスルコト

十二 彈藥、文付準備、爲受領部隊ニ集積ヨリ取來他ノ混同セザル
如ク別ニ區分推積シ置テハ希望スル所トシ人員時間ニ餘裕ナル場合、
外置施因難ナルニ但シ全部ヲ不出シ得ル場合ニ於テハ相數少ク
モ、ハ小量ニ置テ可トス集積シタル儘授受スル場合ニ於テハ文付ス
ル現品ニ白墨繩等ヲ以テ標示シ或ハ彈藥集積團ニ文付スル
拍數ヲ固ニスル等、準備ヲナス可トス

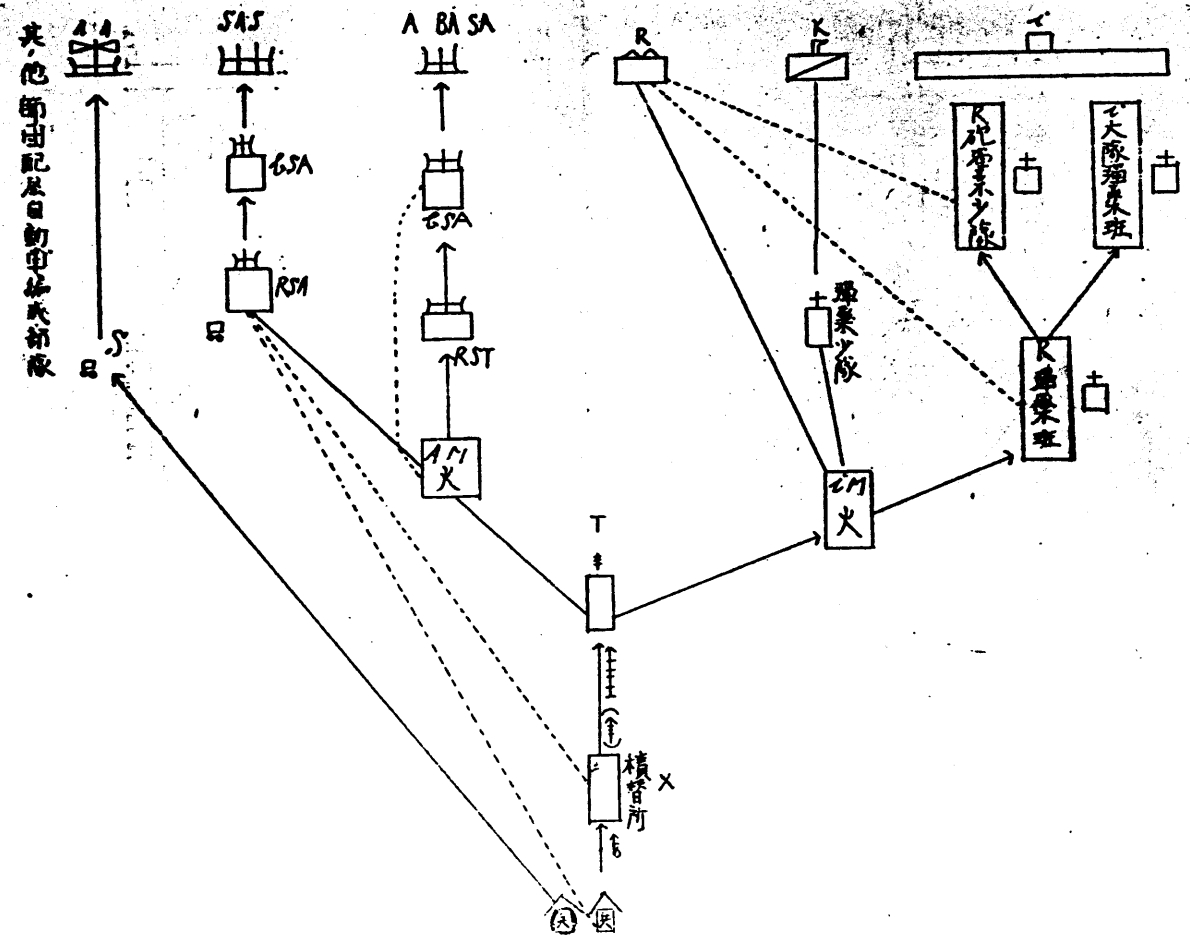
十三 集積地附近ニテ火氣ヲ使用ヲ禁止スルコト

十四 夜間作業、爲携帶電燈ヲ準備スルコト

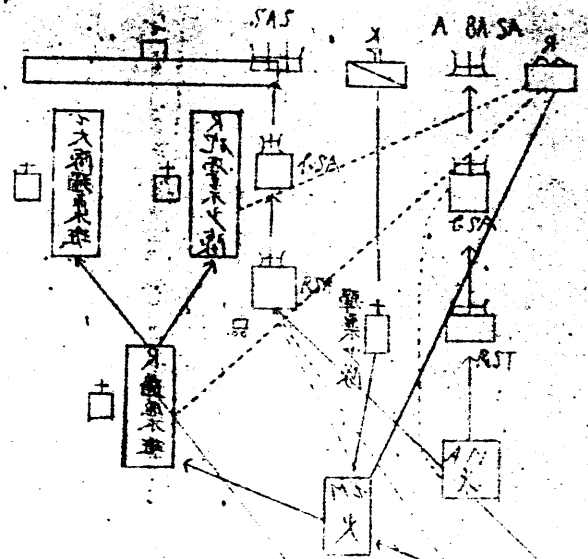
十五 被補給部隊裝備又ハ各應スル彈藥ヲ整正備スルヲ要ス

彈藥補給系統圖

備考
 通常
 狀況
 狀況
 狀況



彈藥機保



一 彈藥機、取扱ニ就テ
 特 彈藥 取扱細則ニ示ス諸項ヨリ確實ニ實施スルヲ要ス

過去ニ於ケル危 害或ハ損毀等ハ之等ヲ確實ニ履行セザリシニ
 ヨルモノト謂フ可トシ、非ラサルナリ

今迄記述シタル事項ヲ熟讀セハ自ラ其ノ取扱法ハ明カナルヘシ
 尙細部ニ彈藥取扱細則兵器業務規則各種兵器彈藥

取扱法ニ基テ取扱其ノ他ニ關シテ万全ヲ期スルヲ要ス

一 彈藥筒一般ノ取扱ニ就テ
 彈藥筒ノ取扱ニ關シテハ各彈藥筒ノ部ヲ於テ記述シ又其ノ

構造機能ヲ承知スルヘキヲ取扱ヲ如何ニスルベキハ自ラ明カナルヘシ
 彈藥筒一般ノ取扱ニ關シテ主要ナル事項概テ次ノ如シ

彈藥筒ノ顛倒輓轉ヲ絶體ニ防止シ且他物ニ觸ラセザルヲ
 要ス特ニ信管爆管ニ於テ然リトス

一 彈藥筒ハ爆管ヲ下方ニテ直ニセシメサルヲ要ス
 二 彈藥ハ直射日光及雨露等ニ曝露セサルヲ要ス
 三 彈藥箱收者其 他取扱ニ際シ彈軸ヲ変歪セシメサルヲ要ス
 四 他物ニ衝突セシメ藥筒或ハ彈藥ニ打痕等ヲ生セシメサル事
 五 彈藥筒外部ニ塗料・刷脱セシメサルコト
 六 彈ト藥筒ト結合不良ニシテ藥莖上面ハ彈帯下部ニ密着シ
 アラコトアリ斯 如キ時ハ爆管ヲ離脱シケル儘適宜台
 七 上ニ輕打シ所定位置迄嵌合セシムルヲ要ス爆管附着儘藥
 筒下面ヲ地上ニテ輕打スルハ最モ危険ナリ
 八 射撃ニ際シテ裝填前ニ必ズ雑巾ヲ以テ其外部ヲ拭淨スルモトス
 九 信管ノ螺着ハ確實ニシテ手力ヲ以テ緩解スルコトヲ要ス
 十 口區分ヲ明カシ同一口ノモノヲ纏メルコト
 十一 小物等其 他 緩解シタルモノハ之ヲ緊定シ置クヲ要ス
 十二 斷絶定心部ニ打痕等ヲ生ズルヲ要ス

一 不發場合其 原因爆管ニヨル時ハ該備爆管ト交換スルモトス
 二 信管ノ被筒脱シケルモハ成ルヘク之ヲ残存セシメサル如ク注意ス
 三 共若シ残存シケル時ハ同ラシシ紙ノ類ヲ以テ被包シ濕氣ノ侵入ヲ
 防止スルヲ要ス

一 保管彈藥中ノ不良品之ヲ兵器支廠ニ返納スルモトス
 二 銃砲打散及彈藥箱等ハ悉皆返納スルモトス
 三 本件ニ關シテ平時ハ勿論作戰要務令第三部ニ明確規定
 四 有ラサル事項ニテ現在資源關係ハ放漫ナル返納ハ許ササル
 五 事トス確實全数量ヲ返納スル如ク注意シテ要ス之カ整理ノ
 六 注意スルハ事項次ノ如シ
 七 各別箱トス
 八 不發彈不良彈具 他ト然ラサルモノト區分ス

- 一 刺戟打殺藥、英ト押收打殺藥、英ト區分ス
- 二 危險品ト英危險品ト區分スルヲ要ス
- 三 重量大ナルモノ他、危險品トシテ同梱セザルヲ要ス
- 四 危險品トシテ運搬取扱、保安ヲ確實トシムルヲ要ス
- 五 九式十箇九式步兵兵化彈藥、如キ裝裝藥ヲ以テ射擊スルモノ、一トハ殘藥包トシテ其、藥包種毎ニ取纏、火藥ト同様ニ其ノ諸元ヲ明カラシメ返納スルヲ要ス

押收彈藥ノ取扱ニ就テ

- 一 各部隊ニ於テ彈藥ヲ押收シクル時ハ完全ナルモノ、修理ヲ要スルモノ、及廢品トニ區分シ北支那方面軍兵器業務規定ノ様式第六ニヨリ軍司令官ニ報告スルモノトス
- 二 各部隊ニ於テ押收彈藥、利用處却毀損等ヲ行ハストスル時ハ危記ニヨルモノトス
- 三 增加裝備トシテ使用セトスル時北支那方面軍兵器業務規定ノ様式第七、調査表ヲ添へ順守ヲ經テ軍司令官ニ申請スルモノトス
- 四 處却毀損等、處分ヲ要シ又ハ之ヲ適當ト認ムル時ハ軍兵器部長ニ指不ヲ要スハキモノトス
- 五 緊急處分ヲ要シ前二項ノ指不ヲ受ケル暇ナキトキハ各部隊長ニ於テ處分ヲ速ニ軍兵器部長ニ通報スルモノトス
- 六 兵各支隊ニ於テ押收彈藥ヲ之ヲ検査シ其ノ程度ヨリ厄如ク分類整理ス各部隊ニ於テ押收彈藥、整理ニ方シテ右ニ着意

シ整理スルヲ要ス但シ成ニヘク再用シ得ル如ク努力スルモノトス

一 直ニ利用シ得ルモノ

ニ 修理等入リ上利用シ得ルモノ

三 使用ノ見込ナキモノ

四 危険品ノ区分整理スルモノトス

危険品ト云々危険品ヲ混同スル時ハ取扱運搬其他於テ危

険ニシテ整理ノクモ適當ナラズトス危険品ニテ危険品ノ別

困難ニモ、ニテハ之ヲ危険品トシテ別ニ取扱フ可トス

五 取扱不明ナルモノ危険ノ虞ニテモ、不發彈ヲ取扱フ如ク其儘ノ状

勢ヲ靜肅ニ取扱フモノトス押収品ヲ取扱不明ニテモ、構造機

明ナルモノ多ク例トス而シテ、安全装置等モ脱シテモ知レテ改

メ取扱ニ際シテハ極メテ慎重ニシテ動搖セシメタル如クスルヲ要ス

之等ノ危険品ノ取扱ハ、前記ノ如クシテハ、

持ニ連射器地雷雷等、如キモノニテハ、安全栓ヲ以テ彈頭ヲ庄

スレハ直ニ爆發ス迫害化彈ヲ彈藥箱收容、儘運搬シクル際其

動搖ニヨリ爆發セシ例アリ

七 信管等ニテ安全栓ヲ離脱シタルモノ之ヲ裝シ置テラ要ス

八 運搬ニ當リ内容品、動搖セタル如ク他、緩衝部ヲ填メシ置テ要ス

九 實包其他ハ、儘箱ニ收容シ返納シタルモノ、必ずスル式彈

藥ノ取扱ニ同様ニ發或ハ十發一纏ニシテ箱ニ收容シ返納スルヲ

要ス

一〇 押収彈藥特ニ取扱法構造機能不明ノモノハ之ヲ分解スルハ制

式彈藥ニテリテモ取扱法不明ノモノニテハ分解ノ事不慮ノ危害

ヲ惹起シタル例多ク、マテ精度不良ノ支那側、押収品ニ於テハ實ニ

危険ニテ取扱法構造機能明カナルモノニテリテモ信管地雷雷等ハ之ヲ

分解スルハ殊ニ止スルヲ要ス研究ノクニテハ分解シテ危険ヲ蒙リタル例アリ

丁物珍クニテ分解シテ危管ヲ蒙リタル例ハ甚ク多クシ
 ニ押收彈藥ノ保存ニ注意スルヲ要ス
 押收彈藥ハ往々ニシテ之ヲ放置セラレ又保存取扱不良ノシテ
 良品ヲ遂ニ損毀セシ例多クシ押收シタル時ハ其程度ヲ低下セ
 シタル者意ヲ要ス

爆破用新式藥火具ニ就テ

近時新制定セラレタル火藥及爆破用火具ニ火具ニ如ク
 交付アリ来リ現品ハ交付ノ域ニ達セサルモ將來逐次旧制式ノ火具
 交付アルヘキモノナリ以テ之ノ性能取扱法ヲ承知シ置クニ要ス
 以下其概要ヲ付説述セントス

區分	名	稱	區分	名	稱
火	熔融	黃色	火	九七式導火雷	管
	反	色		九七式導線	索
	淡	黃		試制九七式電氣雷管	管
藥	九七式方形形	黃色	九七式導火	索	
	九七式方形形	灰色	九七式導火索長火管管	索	
	九七式方形形	淡黃	九七式導線	發	色
			九七式破線	管	

新制式爆破用火具一覽表

名	稱	構造及機能	旧制式ト、差異	取扱上注意
九七式導火雷管		<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ
九七式導爆索		<ul style="list-style-type: none"> 一 索長 約十五尺 二 索徑 約七mm 三 重量 約四kg 四 構造 均六mm 五 耐火性 水深ニ入り 	<ul style="list-style-type: none"> 一 索長 約十五尺 二 索徑 約七mm 三 重量 約四kg 四 構造 均六mm 五 耐火性 水深ニ入り 	<ul style="list-style-type: none"> 一 耐火性 二 重量 三 構造 四 耐火性 五 重量 六 構造 七 耐火性 八 重量 九 構造 十 耐火性
九六式電氣信管		<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 二 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 三 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 四 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 五 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 六 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 七 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 八 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 九 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ 十 起爆劑ニ雷管ノ用ヲ
九七式導火索小		<ul style="list-style-type: none"> 一 甲 九七式導火索ニ係ル如ク 二 乙 九七式導火索ニ係ル如ク 三 丙 九七式導火索ニ係ル如ク 四 丁 九七式導火索ニ係ル如ク 五 戊 九七式導火索ニ係ル如ク 六 己 九七式導火索ニ係ル如ク 七 庚 九七式導火索ニ係ル如ク 八 辛 九七式導火索ニ係ル如ク 九 壬 九七式導火索ニ係ル如ク 十 癸 九七式導火索ニ係ル如ク 	<ul style="list-style-type: none"> 一 甲 九七式導火索ニ係ル如ク 二 乙 九七式導火索ニ係ル如ク 三 丙 九七式導火索ニ係ル如ク 四 丁 九七式導火索ニ係ル如ク 五 戊 九七式導火索ニ係ル如ク 六 己 九七式導火索ニ係ル如ク 七 庚 九七式導火索ニ係ル如ク 八 辛 九七式導火索ニ係ル如ク 九 壬 九七式導火索ニ係ル如ク 十 癸 九七式導火索ニ係ル如ク 	<ul style="list-style-type: none"> 一 耐火性 二 重量 三 構造 四 耐火性 五 重量 六 構造 七 耐火性 八 重量 九 構造 十 耐火性
九七式導火索大		<ul style="list-style-type: none"> 一 従来ニ付 爆發管ニ外ニ 二 爆發管ニ外ニ 三 爆發管ニ外ニ 四 爆發管ニ外ニ 五 爆發管ニ外ニ 六 爆發管ニ外ニ 七 爆發管ニ外ニ 八 爆發管ニ外ニ 九 爆發管ニ外ニ 十 爆發管ニ外ニ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 従来ニ付 爆發管ニ外ニ 二 爆發管ニ外ニ 三 爆發管ニ外ニ 四 爆發管ニ外ニ 五 爆發管ニ外ニ 六 爆發管ニ外ニ 七 爆發管ニ外ニ 八 爆發管ニ外ニ 九 爆發管ニ外ニ 十 爆發管ニ外ニ 	<ul style="list-style-type: none"> 一 従来ニ付 爆發管ニ外ニ 二 爆發管ニ外ニ 三 爆發管ニ外ニ 四 爆發管ニ外ニ 五 爆發管ニ外ニ 六 爆發管ニ外ニ 七 爆發管ニ外ニ 八 爆發管ニ外ニ 九 爆發管ニ外ニ 十 爆發管ニ外ニ
九七式導火索同		<ul style="list-style-type: none"> 一 全編 導索ニ付トス 二 導索ニ付トス 三 導索ニ付トス 四 導索ニ付トス 五 導索ニ付トス 六 導索ニ付トス 七 導索ニ付トス 八 導索ニ付トス 九 導索ニ付トス 十 導索ニ付トス 	<ul style="list-style-type: none"> 一 全編 導索ニ付トス 二 導索ニ付トス 三 導索ニ付トス 四 導索ニ付トス 五 導索ニ付トス 六 導索ニ付トス 七 導索ニ付トス 八 導索ニ付トス 九 導索ニ付トス 十 導索ニ付トス 	<ul style="list-style-type: none"> 一 耐火性 二 重量 三 構造 四 耐火性 五 重量 六 構造 七 耐火性 八 重量 九 構造 十 耐火性

式天
...
...
...

極秘

彈痕ニ依リ銃身廢兵器檢定要領

一、要旨

標的ニ印サレル彈痕ノ大小ハ飛行中ノ彈丸ノ狀況ヲ表ハシ從テ銃身腔中ノ衰損程度又衰損ニ依リテ左右セラレヘキ命中精度ヲモ判定シ得ヘシ故ニ彈痕ノミニ依リテ銃身ノ廢兵器檢定ヲ行フコトヲ得ルモノナリ乃チ本檢定要領ニ彈痕ヲ檢シ以テ銃身ノ存廢ヲ決定スル要領ヲ規定スルモノトス

二、實施要領

銃口前距離一〇米或ハ五〇米ニホリ紙等ノ標的ヲ射線ト直角ニ且成ルヘノ水準上ニ立テ次知リ射撃手ヲ實施シテ標的上ノ彈痕ヲ檢シ銃身ノ存廢ヲ決定ス

1	射撃手	距離一〇米場合	同上
5	射撃手	距離五〇米場合	同上

III	II
10	10
<p>(1) 標の上ニ射入ス (2) 前項(1)又ハ(3)ノ結果ヲ生シルトキハ (2) A大彈一發(含ス)以下ニシテB彈以上 ヲ生シルトキハ合格トス</p>	<p>(1) 標の上ニ射入ス (2) B彈以上ニ射入ラズA彈一發(含ス)以下 (3) 此ノ時A彈一發以上ニ射入ラズ通常 トス (4) 全彈中A彈一發以上ニ射入ラズ又ハA大 彈一發以上ニ射入ラズB彈以上ヲ生 シタルトキハ合格トス (1) 同 (2) A彈一發(含ス)以下ニシテA大彈一發 (含ス)以下ニシテ合格トス (3) 此ノ時A彈一發以上ニ射入ラズ (4) 全彈中A彈一發以上ニ射入ラズ又ハA大 彈一發以上ニ射入ラズB彈以上ヲ生 シタルトキハ合格トス (1) 同 (2) A彈一發(含ス)以下ニシテA大彈一發 (含ス)以下ニシテ合格トス</p>

備考
逃ケ彈(標的ニ的ラサル彈丸)アルトキハ射次毎ニ最初ヨリ復行スルヲ要ス但
シの中彈ノミニテ廢兵器ト決定シ得ル場合ヲ除ク

五 彈痕表

(彈痕ヲ目視シテ正圓ナルモノヲ通常彈痕トシ楕圓形ナルモノノ長徑ノ
寸法ヲ測定シテ次ノ區分ニ附ス)

D 彈	C 彈	B 彈	A 彈	
<p>一九五粒(含ス)ヨリ 三〇〇粒(含ス)迄</p>	<p>一九五粒(含ス)迄</p>	<p>一五〇粒(含ス)迄</p>	<p>一〇〇粒(含ス)以下</p>	<p>楕圓長徑ノ寸法 口径六・五粒銃身 三八式普通実砲</p>
<p>二四五粒(含ス)ヨリ 三二〇粒(含ス)迄</p>	<p>二四五粒(含ス)迄</p>	<p>一五〇粒(含ス)迄</p>	<p>一一〇粒(含ス)以下</p>	<p>口径七・七粒銃身 九二式普通実砲</p>
<p>一八五粒(含ス)ヨリ 二八五粒(含ス)迄</p>	<p>一八五粒(含ス)迄</p>	<p>一四〇粒(含ス)迄</p>	<p>九五粒(含ス)以下</p>	<p>九式普通実砲</p>

E 彈	三〇〇耗(含ス)ヨリ	三三〇耗(含ス)ヨリ	二八五耗(含ス)ヨリ
	三三〇耗(含ス)迄	三五〇耗(含ス)迄	三一〇耗(含ス)迄

備考

一 A大彈トハ三式普通實倉ナラハ楕円長徑寸法一〇〇耗ニ近キモ
 一(一〇耗以内)ヲ言ヒ他ノ實倉モ之ニ準ス
 二 A彈以上トハA大彈及B彈、C彈、D彈等楕円長徑寸法A彈
 ヨリ大ナルモノヲ言フ他モ之ニ準ス

四 其他

一 本検定ニ依ルトキハ實倉ノ種類ニ依リ同一銃身ニテモ廢品程度
 ノ成績トナルコトアリ又然ラサルコトモアルヲ以テ命數ヲ最モ長カラ
 シムル實倉(即チ徑七七耗銃身ニテハ九九式普通實倉)ニ依リ
 決定スルヲ要ス而シテ九二式普通實倉ニテ廢品程度ノ成績ヲ
 得タルモノハ今後該實倉ヲ使用セサルコト勿論ナルモ廢兵器トシテ

一 処分方針ハス九九式普通實倉ノ射撃用トシテ使用スレノ処置
 ヲ講スヘキモノトス
 2. 標的ハ彈丸ヲ跳ネ返サス又大キク破レス彈痕ヲ正確ニ表示シ又彈
 丸ノ命中シ得ル大キサヲ有スルモノナルヲ要ス之カ爲通商「ボール」
 紙ニ寒冷紗ヲ敷張りシタルモノヲ木ノ枠ニ張りテ用フルモ其他
 「ボール紙」吸取紙或ハ松、杉等ノ薄板ヲ用フルモ可ナリ

附録

銃身廢品檢定ニ就テ

廢兵器檢定ハ廢兵器檢定規則ニ基キ實施スヘキモノナルモ今同
 陸普業五八〇號ニ依リ小銃、機關銃、銃身ノミノ廢兵器檢定ニ
 限リ別紙「彈痕廢品銃身廢兵器檢定要領」ニ據リ實施シ得
 ルコトニ定メラレタリ
 尚本要領ニ依ル檢定ハ聯隊長以上、部隊長ニ委任スルコトヲ得ル

如定... 以テ北支那... 西軍兵器... 規定... 三十八條
 二拘ラス實施差支ヘナキニ付疑ハシキモノハ實施ノ上之カ存廢ノ決定
 ニ努ムルヲ要ス
 但シ此ノ際ハ該部隊長ニ於テ檢定書ヲ依製ノ上代品請求等ノ
 場合ハ之ヲ添附スルモノトス

彈藥檢査ノ注意

野戰於ケル彈藥檢査ハ彈藥補給ニ際シ變種信管ヲ過
 誤ヲ絶對ニ防止シ且彈藥保存並ニ危險防止ヲ主眼トシテ
 實施スルヲ要ス主要事項ヲ列記スレハ次ノ如シ

- 一 彈種信管等、過誤防止上ノ着眼
 1. 異種彈藥、混入
2. 彈藥箱(素箱)ノ内容品標示不明瞭
3. 彈種ニ對シ信管區分、誤リ
4. 彈藥標識不明瞭
5. 彈藥保存上ノ着眼莫
6. 彈藥箱、吸濕
7. 防濕裝置、不良
8. 彈體者シテ打痕反起
9. 彈體者シキ發錯

ニ信管、装着不良

一信管、接續筒各種小ねり底螺等、緊定不良

一爆管、螺着不良

一分離薬筒、於ケル薬莖蓋、裝定不良

一彈藥筒、彈軸、薬筒軸、不一致

一彈藥特、爆藥火具特種彈藥筒類、吸濕

一發煙彈各部、氣密不良

ニ、危害防止上、着眼

一信管安全栓、避害栓等、装置不良

一藥莖式信管、於ケル安全位置、裝定不良

一甲火具銃用彈藥等、收容セルモノ、内容品、動搖

一甲火具ト爆藥類、同一箱ニ收容或ハ接近シテ推積ス

一發煙彈、如キ自然シ易キ彈藥、推積位置不良

一、彈藥箱推積、動搖

尚細部ニ關シ列記スレハ次、如シ

一、出納上、着眼

一、保管區分(部隊裝備用教育用等)後、數量、標不明確ナリヤ

一、製作年次(調製年次)古キモノ、ヨリ交付シアリヤ

一、打殺藥莖殘彈不發彈毀損彈類、返納受授、適否

一、九二式兵砲九一式榴等、裝藥ニシテ殘藥包、返納整理状況

一、カード、記載、適否

ニ、格納、状態

一、現品ニ付シタル標示札適當ナリヤ

一、枕木ヲ使用シアリヤ

一、推積高、適當ナリヤ同壁ヨリ必要、巨高ヲ有シアリヤ各推積間

、巨高適當ナリヤ

4. 彈藥ノ特性ニ應シ格納位置選定適當ニ特ニ爆藥ト甲
 火具(信管筒管等、如キモノトハ離隔シアリヤ
 5. 品種毎ニ集メ製作年次ニ從ヒ區分毎ニ配列シアリヤ
 6. 彈藥箱ニシテ其ノ外側ニ銃具ヲ附シアラサルヤ
 7. 彈藥箱及格納用木材ハ十分乾燥シテモラ使用シアリヤ
 8. 彈藥ノ調製年月日ヲ使用火藥製作年月日ト明瞭ニシアリヤ
 整備員數及保存取扱上ノ着眼
 9. 保管數量ハ現品ノ標示帳簿現品三者一致シアリヤ
 10. 二種以上ノモノヲ同一箱ニ收容セルモノナキヤ
 11. 箱ノ標記ト内容品ト一致シアリヤ
 12. 彈藥箱ノ標紙ハ漏レナク貼布シアリヤ
 13. 使用制限又使用禁止彈藥等ノ標示明瞭ナリヤ
 14. 彈藥箱ノ内容品ノ動搖防止確實ナリヤ(持端數ノモノ)

清涼乾燥ノ格納シ且裝藥包別ニ射撃月日其ノ後ノ言
 ラ標記シアリヤ

1. 實包ト空包トヲ混シケルモノ又ハ近接シ堆積シアラサルヤ
 2. 不良彈毀損強シ出納明確ニテ貯藏法適當ナリヤ
 3. 彈藥受領後ニ於ケル検査ヲ實施シアリヤ
 4. 打殺藥表ノ區分保管出納ノ確否生害ニ附テ危險品此等
 5. 押收品ト制式品トヲ區分シアリヤ
 6. 實包等ニシテ紙函ニ收容スバシクノ格納シアリヤ
 7. 手筒彈等ニアリテ其ノ制式區分毎明瞭ニ區分シアリヤ

極秘

彈樂、貯藏、就、斤

彈藥貯藏ノ就テ

彈藥貯藏ノ貯藏スル目的ハ彈藥ヲシテ使用ニ際シ其ノ性能ヲ違
ヒテ發揮セシムルヲ維持シ且貯藏間不慮ノ危害ヲ惹起セ
ル目的ト入故、清涼火藥庫乾燥火藥庫土密火藥庫等設
備ヲ完全トシメ取扱出納検査ヲ綿密ナラシメサレハ到底其ノ目的ヲ
達成シ得サルモノト入而シテ野戰ニ於テハ之ヲ設備ヲ完成スルハ望ム可ラサル事
項トモ吾人ハ凡ユル手段ヲ講シ保存ノ留意セサル可ラス以下ノカ貯藏上特
ニ注意セラル可ラサル事項ニ付記述セントス

一 格納倉庫ノ就テ

範式若クハ之ニ準スル倉庫ヲ利用シ得ハ最も有利トモ戰地ニ於テ
ハ到底之ヲ望ム可ラサルモノトシテ其ノ記條件ヲ具備セサル可ラス

ハ雨露 直射日光 風ニ對シ遮蔽スルコト

ハ塵埃ノ侵入ヲ防マザルコト

ハ内面ハ鐵類ヲ露出セス又成ル可ク床ヲ有スルコト

雨水其、他濕氣、侵入防キ得ルコト

成ル可ク温度、変化ナク温氣少キコト

出入容易ナルコト

火氣ヲ使用スル場所ヨリ遠ク離隔シアルコト

他ノ建造物多数ヲ集合スル場所交通頻繁ナル道路ヨリ相當

距離ヲ保有スルコト

二 彈藥格納倉庫出入ニ關ルル注意ニ就テ

内地ニ於ケル火藥庫出入、如ク嚴重ナル到底望ム可ラサルモ、イヤシキ

彈藥取扱者ハ此ノ精神ヲ有セザル可ク即チ次ノ如シ

ノ刀劍ヲ脱シヨウシ其、他發火ノ虞アルモノ鐵類若クハ鐵類ノ附着モ

モ、ヲ携行スルヘラス

一 夜間ハ止ムヲ得ザル場合ヲ除キ出入スヘカラス止ムヲ得ヌ出入スル時ハ懐中

彈藥、分辭結合ヲ行フ可ラス

二 彈藥ノ貯藏ニ方リテハ倉庫ノ狀況彈藥ノ種類數量等關係

ヲ考慮シ貯藏場所ヲ決定スルヲ要ス

例ニハ清涼火藥庫ニ格納スヘキモ成ル可ク清涼ナル場所ニ又

乾燥火藥庫ニ貯藏スヘキモノハ乾燥ナル場所ヲ決定スルヲ要ス

甲火具例ニハ信管等ト他ノ彈藥ヲ同一倉庫ニ貯藏スル場合

ニ好チ之ヲ離隔スルヲ要ス

四 彈藥ノ貯藏スルニ方リテハ先ツ貯藏スヘキ場所ヲ選定シテ後

其、日種類毎ニ製作年次(調製年次)區分毎ニ從ヒテ推積スルヲ要ス

程度ヨリシテ不良モノハ製作年次ニヨルコトナク程度順ニ推積スルヲ

要ス制作年次ノミハ幻惑ヲシテ程度不良ナルモノモ混入スルカ如キハ

戒メザル可ラス

五 彈藥ヲ貯藏スルニハ格納倉庫ノ床面ノ負重力ヲ顧慮シ成ルヘク
千等ニ配列第クハ推積スルヲ要ス

六 彈藥ノ推積ニ方リテハ最下層ニ方約十程ノ枕木ヲ置クヲ要ス特ニ
土間ニ推積スル場合ハ高大ナル枕木ヲ必要トス

七 各種彈藥ノ推積ハ周壁ヨリ約四程以上ヲ隔テ且各推積間ニ
通路ヲ設クルヲ要ス然ラスミテ同種彈藥ノノ意味ヨリ一拵推積スル
時ハ次々到着スル新年次ノ彈藥ハ常ニ使用セシ者年次ノモハ依然
倉庫ノ一隅ニ残置セラルルニ至ルモノトス

八 彈藥ノ推積高ハ一米八十程ヲ越ス可ラス己ヲ得ヤル場合ニアリテモ
甲火具ハ一米八十程以下ヲラシムルヲ要ス尚各推積ハ安定シテ
動搖セザルヲ要ス從テ推積ニ方リ入念ニセザレハ最後ニ至リ不安定ナル推
積トナルコトアリ

九 彈藥箱ニ收容スル場合或ハ彈藥容器ノ取扱主ニ標識等ニ關
シテハ元記ノ留意スルヲ要ス

十 彈藥ニ假令保管數量少キモト雖モ各種ニ由リ各別ノ注意スル
スルヲ要ス

十一 彈藥ノ取扱各箱ニ其ノ見易キ位置ニ此種名及數量ヲ明瞭ニ標
スルヲ要ス

十二 本ニ項ノ彈藥取扱上最モ必要ナル事項ニテ多數名種ノ彈藥箱ヲ取
扱ノ場合ニ於テ然リトス從テ彈藥補給ニ際シ之等ノ事項明瞭
ニラサレバ必要トナル彈藥ヲ運搬シ或ハ信管付志ニテ必要ナル場合使
用シ得サレシ例ヲ厚々聞ニス

十三 彈藥容器其ノ外面ニ銃具ヲ附着セシムス釘ハ正シク釘着シ外面ニ穴
ホシテアリテ要ス

十四 彈藥ノ收容スル場合ハ動搖防止ニ注意スシ之カタメ乾燥セル麻屑
又木綿其ノ他所存ノモノヲ利用シテ空隙ヲ充填スルヲ要ス

十五 彈藥ノ容器ハ乾燥十分ナルモノヲ使用スルヲ要ス

十六 目衣其ノ他防護法ヲ施シタル箱又ハ罐ノ蓋等ヲ開クハ防護濕裝

十七 目衣其ノ他防護法ヲ施シタル箱又ハ罐ノ蓋等ヲ開クハ防護濕裝

置テ毀損ナルコトニ注意シ再ヒ貯蔵スル場合ハ舊態ニ復スルヲ要ス
ニ 彈藥箱ノ標識ハ彈藥ノ種類ニ依リ異ルモ別紙ニ依ル
ニ 封紙ハ相對スルニ箱所ニ貼布ス

十 格納區分ニ就テ

一 填藥彈丸成彈ハ一括シ又彈藥筒空包由射歩兵砲彈重擲彈藥
實方ト同一倉庫ニ格納シテ差支テキモノトス
ニ 持種彈藥ニ發煙彈ハ火災ノ虞ニテ方ニ發火スルモ他ニ危宮ニ建物以
ニ 格納スルヲ要ス

三 手榴彈ハ甲火具(信管其他)ニ準シ貯蔵ス
四 甲火具ト火藥ハ各別ニ格納ス

十一 彈丸ニ總テ彈口ニ螺塞ヲ裝シ置クヲ要ス

ニ 信管爆管雷管點火管等ニシテ容器ニ防濕ノ裝置ヲキモハ九記
ニ 貯蔵ノ方法ヲ講スルヲ要ス

ニ 其他ノ信管等ハ信管筒ニ收容スルカバラフィン紙ニテ密封ス
五 彈藥箱ニ貯蔵ニ方リテハ注意スルヲ要ス

六 彈藥容器ニ再用ニ方リテハ前收容品ノ標識ヲ抹殺スルヲ最重事
トス清潔ナラシメ使用スルヲ要ス

五 彈藥ノ口區分ニ就テ

一 取扱ノ項ニ於テ説明シタル如ク之カ推積モ亦區分スルヲ可トス
而シテ之カ推積ニ其ノ口區分諸元ヲ明記シタル紙片ヲ附シ置クヲ
可トス

天 員數ニ就テ

一 員數整理ハ彈藥貯蔵ニ於ケル重要ノ事項ニシテ根本ヲキモトス
而シテ最モ困難ノ事項ニシテ彈藥取扱者ノ最モ注意ヲ要スヘキ
事項ニシテ之カ整理ハ帳簿整理ト現品整理ニ區分セラルベシ以
下石ニ項ニ就テ若干ノ注意事項ヲ記述ス

帳簿整理

(1) 作戦討伐其他に於て受領シタル彈藥ハ例へ如何に急キ場
合ト雖モ必ラス證據ニヨリ受入ト置クヲ要入作戦討伐等ニ於テ
受領シタルモノ等ハ應々ニテ受入モザル儘所謂員數外トシテ其
ノマ、残置セラル、コトアリ又小部隊ニテ他部隊へ配屬セラレタル
等ノ如キ場合合特ニ注意モザルハ員數不明トテ事多シ

(2) 保管區分ヲ明瞭ナラシムルヲ要ス

彈藥中於テモ教育用彈藥アリ部隊裝備彈藥アリテ之ヲ
別ニ出納スルヲ要スルモノアリ之等同一口座ニ受入ル時ハ員數出納
關係不明瞭ナリ現品整理場合困難ヲ來スモノナリ或師
團ニ於テハ部隊裝備用或ハ師團隊託彈藥ニ區分アリテ一様ナラサ
レ共斯ノ如キ保管及使用區分ヲ異ニスル彈藥ハ別口座ニシテ整
理スルヲ可トス例ハ三八式銃實包ニテ「教育用」隊託彈藥

例ハ七式榴彈ニ於テ數種アリ九七式手榴彈九一式曳火手榴彈
改造手榴彈木柄手榴彈等アリ又如筒ニテモ種々種類
アリ之等ヲ混淆シ同一口座ニ記帳スル場合ハ現品整理際
難ヲ來スモノトス故ニ其品種毎ニ各別口座ニ記帳スルヲ要ス

(3) 一箱入員數別ニ區分スルヲ要ス

兵器廠或ハ師團アリ受領スヘキ彈藥中ニハ同一品目ニテモ
箱ノ入數ニ差アルコトアリ之ヲ同一口座ニ受入レ現品モ其儘
推積トナス時ハ大ナル誤リヲ生スルコトアルヘシ注意ヲ要ス

信管藥筒附着ノモノ上座ノモノトヲ區分スルヲ要ス

火砲彈藥中ニハ素箱内ニ信管ヲ入レアルモノアリ或ハ彈藥筒
ト同一箱内ニ收メ若クハ分離シタルモノアリ之等ヲ其儘混淆シ
オカシカ使用或ハ整理ニ際シ困難ナリスヘキ學ヲ生起スルモノトス

而シテ信管除彈藥ニテハ必ス信管モ口座ヲ設テ記載シ置ク
要ス

(一) 毀損不良彈ハ應々其儘彈藥庫ニ残置セラレ易キモノトシテ
必ス口座ヲ設ケ記載シ置キ機會ヲ求メテ整理スルヲ可トス
(二) 證票、整理ヲ確實ニ實施スルヲ要ス

口座多數ニシテ出納頻繁ナルヲ以テ綿密ニ整理シ置クニテ
カレハ後日調査ニ際シ大ニ困難ナルモノナリ

又單師團其、他ヨリ受領シ際證票記載ノモト帳簿
入レノ場合、品目ト相違スル場合アリ例ハ單ヨリ八九四式小銃
榴彈藥筒ヨリロロナル證票ヲ受領スルモトス然ル時ハ單ハ信
管附ヲ交付スル心算ナルモ兵器廠ニ於ケル現即ノ送付ニ當リ
テハ口座信管ノモト同數、信管箱收容シテ其、マ、信管
ヲ送付スル事アリ此、場合部隊ニ於テハ口座信管ノ口座ニ受
入信管モ亦口座ヲ設ケ記載スルモ他日之ヲ調査スル時ハ
除信管ノ口座ニ記入セシヤ否ヤ不明ナルハ故ニ必ス證票ニ必項
記載シ整理シ置クヲ肝要トス

持一帳ニ證票、實、簡單ニ取扱ヒ、勿キモノトス而シテ其、必要
ナル他ノモノ比ス可シララル重要ナルニ注意シ思ハラ西女ス

2 現品整理

(一) 帳簿、通り區分推積スルコト

(二) 帳簿、突キモノ所謂員數外ハ貯藏モタルコト當、簿ニ受ケ入レ明
確シオクコト

(三) 各箱、標識ヲ明瞭ナラシムルコト

(四) 努メテ同一品目、モノアリテハ同一箱ニ使用スルコト

(五) 火砲彈藥、銃彈藥、火藥、火具等ニ大別シ細別スル時ハ整理
ニ便ナリ

(六) 例ハ小銃實包等ニシテ紙函夾ク且挿彈子無キモノ同箱内
ニラテラニ入レ置クカ如キハ員數整理上最モ困難ヲ來スモノト
ス必ス挿彈子アラハ之ニ裝シ若シナケレハ五發宛紙ニテ包ム等
ノ處置ヲナシ整理スルノ者莫キ必要ナリ

而シテ一箱入數ハ一定ナラシムル者意ヲ要ス

(ハ) 出納カドト端數札ヲ利用シ且純テ修正スルコト

3. 現品ト帳簿不一致ナル場合ノ處置

(イ) 先ツ帳簿ノ記帳上計算ヲ誤リテキヤ

(ロ) 證券ノ記入洩レニアラサルヤ

(ハ) 出納シタルモノノ記入洩レニアラサルヤ

(ニ) 預リ品其他ヨリ記帳シアラサルニアラサルヤ等ヲ檢シ帳簿ニ誤

リキヤ確認シタル時ハ現品ニ付調査スルヲ可トス

(ホ) 推積内ノ一箱入數ノ相違ニアラサルヤ

(四) 計算ノ誤リニアラサルヤ

等ヲ調査スルモ尚誤リナキ時ハシバラク員數外トシテ確實明

瞭ニ保管シ置キ誤リナキヲ尚探究セサル可トス然シテ確實員

數外ノ確數シタル時ハ後入スルヲ可トス

モ制式品ト押收品ト區分スルヲ要ス

一般ニ區分セラレアル事項ナルモ特ニ實包等ニアリハ混淆シ易キヲ

以テ注意ヲ要ス

ス類似品ヲ近接シ格納セラルコト

實包ト空包ト三八式野砲ト九四式山砲彈藥等ノ如ク類似シタルモノ

ヲ近接格納スル時ハ出納ニ際シ過誤ヲ生スル事ナリ

特ニ隣發信管留白野山四等區分ニ於テ然リトス

五 彈藥以外モノヲ彈藥庫ニ格納セラルコト

本事項ニ關シテハヒトシク承知シアル事項ナルモ應々ニシテ此ノ注意

ヲ設却シアルコトアリ特ニ探砲用彈藥等ヲ彈藥庫ニ收容シ

アルコトアリ小銃發射彈等誤リ易キ事項ナルヲ以テ注意ヲ要ス

六 危害豫防上特ニ注意ヲ要スキ事項ニ就テ

ノ打殺藥莖ノ整理ヲ確實ニ實施スルコト打殺藥莖中ニ實

包或ハ生雷管ヲ混シアルコトアリ注意ヲ要ス